

情報提供日	令和6年1月12日
問合せ先	農 水 産 課
	918-5017 (ダイヤル)
	内 線 2 5 7 6
	担当：吉田・船曳

報道機関各位

里・海協働活動（かいぼり）を開催

1 目的・概要

明石市大久保町松陰「下川池」において、松陰ため池協議会が主催する池底の泥を人力で掻き出し、消防用ポンプで押し流す「里・海協働活動（かいぼり）」を実施します。

明石市では農業者と漁業者が連携し、窒素やリンなどを含んだため池の栄養素分を海に流すことで川や海の生き物の種類を多様にして、数を増やし豊かな海にする取り組みを進めるとともに、里と海の連携・協働による地域づくりを推進しています。

※ため池協議会とは

ため池協議会は、農業者である水利組合を中心に、自治会・企業・各種団体等で構成され、地域の貴重な財産であるため池を保全する活動団体です。

2 開催日時

令和6年1月20日（土） 8時45分～12時00分まで（小雨決行）

※雨天の場合 1月21日（日）に延期

3 開催場所

下川池（大久保町松陰地内）

4 主催

松陰ため池協議会

5 協力

明石市漁業組合連合会

いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所

明石市ため池協議会連絡会

6 タイムスケジュール

8:45 開会式

9:00～11:30 ため池の清掃・かいぼり・ポンプ放水

11:30～12:00 閉会式・解散

7 令和4年度実績

約50名参加

8 添付資料

里・海協働活動告（かいぼり）お知らせ



里・海協働活動(かいぼり)お知らせ

かいぼりって何??



明石市では農業者と漁業者が連携し、窒素やリンなどを含んだため池の栄養分を海へ流すことで川や海の生き物の種類を多様にし、数を増やして豊かな海にする取り組みを進めています。

松陰地区では、古来から、農作業が終わる冬季にため池から水を抜き、池を干して、底のヘドロを取り除いたり、池の修繕を行ってきました。昔は、ヘドロは肥料として活用したり、かいぼりで捕まえたコイやウナギは冬のたんぱく源として重宝されていました。2021年度から「豊かな海再生プロジェクト」として、ため池の「かいぼり」を実施しています。

さらに、明石市内のため池約100か所の中の約30か所で日を決めて、ため池の水を流す「一齐放流」などを実施し、ため池の栄養分を含んだ水を海に放流しています。

日時

令和6年1月20日(土)
9時から正午頃(小雨決行)
開会식을8時45分から行います。
※雨天の場合 1月21日に延期

実施
場所

松陰下川池
(集合場所:松陰山手公園)

主催

松陰ため池協議会
(協力)
明石市漁業組合連合会
加古川流域土地改良事務所
いなみ野ため池ミュージアム
運営協議会



松陰マルシェ同時開催



松陰地区の農業者が手塩をかけて育てた新鮮で美味しい野菜をお手頃価格で販売します。

漁協特選「一番摘み明石のり」をお手頃価格で販売します。

焼き芋を無料配布します(先着200名)



【お問い合わせ先】
明石市ため池協議会連絡会
(明石市農水産課)
TEL: 078-918-5017

